

吉沢かつらの一般質問

安心して子育てできる人間市へ 認可保育所増やし待機児解消を

今年の4月に、認可保育所の入所を希望して入所できなかった保留児童数は63人に上ります。産休・育休あけなどで年度途中に入所希望者が増えることから、今後さらに待機児・保留児が増えることが予想されます。

公立保育所の保育時間延長を

私は「待機児童解消のために認可保育所の増設を」と市長に質しました。市長は「民間保育園の増改築時に定員増をお願いしている」という答弁にとどまりました。市内には公立保育所が11か所あります。民間頼みでなく、公立保育所の保育時間の延長、増改築による定

員増など、待機児解消にむけ積極的な取り組みを行うことが求められます。

老朽化している保育施設への対応

とくに、公立保育所のうち9か所が築35年～45年が経過しています。私は「老朽化している施設の計画的な改修・改築を」と市長に求めました。市長は「大規模修繕については実施計画にのせて対応していく」と答えました。



この他、子ども・子育て新システムや保育への株式会社参入の問題、子育て世代の生活実態などについて質問しました。



日本共産党市議会議員

吉沢かつらの 市議会レポート

2013年夏号

みなさん、こんにちは。蒸し暑い夏、いかがお過ごしでしょうか。私は、今年こそ夏バテしないようにと気を付けていますが、どうなることやら……。今年も暑い夏になりそうですので、みなさんもお気を付けてお過ごしくださいね。



市民の願い届けて頑張ります

みなさんのご支援のもと3期目を迎えることができました。多く方からお寄せいただいた励ましの言葉を忘れずに、この4年間全力で頑張る決意です。私の目標は「一人ひとりが大切にされ

る社会」「安心して暮らせる人間市」をつくること。この気持ちを貫きながら、市民のみなさんの願いをしっかりと市政に届けてまいります。

日本共産党議員団は、「小中学校の教室へのクーラーの設置」「国保税・介護保険料の軽減制度の拡充」など公約実現のために、市民のみなさんと力を合わせて頑張ります。引き続き2つの署名に取り組んでいますので、ご協力をよろしくお願いたします。

6月議会では「認可保育所の増設」「信号機の設置」を求めました。ご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。



人間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

会館通りテニスコート付近の交差点に信号機の設置を



会館通りと市民活動センターの出入り口となっている交差点の横断歩道に「信号機をつけてほしい」という声をお寄せいただきました。すでに自治会からも信号機の設置を求める要望書が出されています。私は「安全確保のために信号機の設置を」と一般質問で取り上げました。引き続き、地域の要望を市政に届けてまいります。

生活必需品の値上がり続くなか

第2回定例議会

8月から生活保護基準が引き下げに

今議会に市から提出された21議案のうち、日本共産党は一般会計補正予算に反対し、その他の議案には賛成しました。

一般会計補正予算には、生活保護と中国残留邦人生活支援事業の給付費の変更に伴うシステム改修費が計上されました。

4人家族で月額6千円も減額に

これは、政府が物価の下落などを理由に生活保護費の支給額を段階的に削減するためのシステム改修に要する予算です。

今年の8月から支給額が3年かけて減らされ、最高10%の減額になります。40

代夫婦で小学1年生と2年生の子供がいる世帯では8月から月額6070円の引き下げとなり、平成27年度にはこの3倍の引き下げとなります。

食料品値上げでさらに厳しく

政府が引き下げの理由のひとつとしている物価下落の中身を見ると大きく下がっているのがパソコンやテレビなどの電化製品です。生活保護世帯の多くは家電製品を購入する余裕がありません。

逆に小麦、食用油などの食料品や生活必需品は値上がりしています。アベノミ

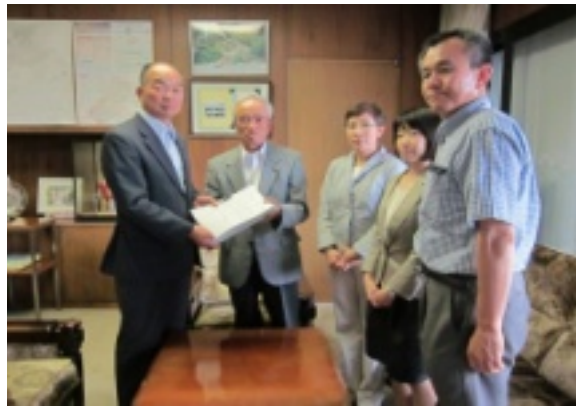
クスで生活が厳しさを増しています。

また生活保護費の引き下げは、新たに申請しても受給できない世帯が増え、年金や最低賃金、就学援助制度など多くの制度にも悪影響を与えます。

日本共産党入間市議団は「貧困と格差をさらに広げる生活保護基準引き下げを前提としたシステム改修の予算には賛成できない」と反対討論を行いました。



エアコン署名市長に提出



日本共産党市議団は、「小・中学校へのエアコン設置を求める署名」の第2次分を田中市長に提出しました。

「埼玉県立大学に医学部設置」求める意見書

埼玉県は人口10万人当たりの医師数が149人と全国最下位です。一方で、高齢化のスピードが全国で最も速く、医師不足の解消は緊急課題となっています。今議会に医師不足解消を求める意見書(案)が提出されました。

「全国的に医師不足が問題になっているなか、埼玉県は人口対比で医師数、一般病床数が全国で最も少ない。産科や小児科などの病院勤務医をはじめ、特に周産期医療、救急医療に携わる医師不足は

深刻であり、医師の勤務実態は過酷な状況である。急速な高齢化にともない、高齢者福祉や医療サービス体制の充実を求める県民の要望は、常に最上位である。

医師不足であるにもかかわらず、埼玉県内の国公立大学には、医学部が設置されていない。医師不足の解消は、県民の切実な願いであり、埼玉県立大学に医学部を設置することが強く求められている」との意見書が議会最終日に全会一致で可決されました。

平和憲法は世界遺産

元自民党幹事長の古賀誠氏が赤旗「日曜版」に登場しマスコミで話題になっています。古賀氏は、安倍首相の憲法96条改定の動きに黙っていられなくなったとのこと。一貫した政治姿勢を貫く共産党を信頼しての登場です。

「現行憲法の平和主義、主権在民、基本的人権という崇高な精神は尊重しなければならない。なかでも平和主義は『世界遺産』に匹敵する」と古賀氏は強調しました。

いまこそ、戦争反対を貫き、平和憲法を守り生かす政治の実現を。平和憲法守れの輪を広げに広げましょう。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

学童保育の充実とやかん坂に歩道を

石田よしお議員

就学援助制度の拡充、命のペンダント

吉沢かつら議員

認可保育所の増設で待機児童の解消を

安道よし子議員

学校にエアコン設置で教育環境改善を

日本共産党市議会報告

2013年7月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883